

第3次笠間市行財政改革大綱(案)パブリック・コメント結果について

資料 No.3(訂正)
平成29年2月22日(水)
第4回行政改革推進委員会

・概要

期間 平成28年12月8日(木)から27日(火) 20日間
場所 本所, 各支所, 各公民館・図書館及びホームページ
意見数 2件

・意見一覧

No	提出日	提出方法	内容	回答
1	H28.12.20	郵送	<p>大綱の概要により, 少子高齢化, 働き盛りの世代数の減少により, 財源の減少, 社会保障費の増大, 公共施設の更新費用の発生等により, 今後, きびしい財政運営が想定されますことが理解できました。</p> <p>そこで, 収入, 支出, 市民との情報共有化について, おたずねいたします。</p> <p>A. 収入の部 (1) 市民税, 固定資産税等の収入の減少は5年後, どのくらい減収になるのでしょうか。 (2) 国や県からの地方交付税は, 5年後, どのくらい減収になるのでしょうか。</p> <p>B. 支出の部 将来の市役所職員の人件費は, どのように考えていますか。</p>	<p>○原案のとおり</p> <p>ご意見ありがとうございます。 厳しい財政状況が見込まれておりますが, 改革を先送りすることなく, 計画的な財政運営に努めてまいります。</p> <p>本案において用いた「新市(まちづくり)計画 財政計画(平成27年3月作成)」における, 計画期間の最終年度である平成33年度の推計と, 平成27年度決算額は, 下記のとおりでございます。</p> <p>なお, 現在, 最新の財政計画を策定中であり, 推計は変更となる見込みでございます。また, 今後も経済状況や国の動向により変動いたしますので, 積極的に情報を公開し, より新しく, より精度の高い情報を市民の皆様と共有していきたいと考えております。</p> <p>A. 収入の部 1. 市税 平成33年度推計 8,454,000,000円 平成27年度実績 8,950,606,005円 減収見込額 496,606,005円</p> <p>2. 地方交付税 平成33年度推計 5,221,000,000円 平成27年度実績 7,018,603,000円 減収見込額 1,797,603,000円</p> <p>B. 支出の部 1. 人件費 平成33年度推計 5,146,000,000円 平成27年度実績 5,416,154,000円 減額見込額 270,154,000円</p> <p>出典 ・平成27年度笠間市歳入歳出決算書 ・平成27年度地方財政状況調査</p>

			<p>C. 一方、多様化する市民ニーズにも応えなければならぬ行政として、少子高齢化や収入、支出の減収、減少のからみのバランスを考えなければならぬので苦労しますね。</p> <p>市民の「親方日の丸」「おんぶにだっこ」の意識から脱皮して、それぞれの役割を認識する必要があると考えます。</p> <p>俗に言う、自助＞近助、共助＞公助の役割分担を確立する必要があると思います。</p> <p>その為には、市民との対話により、一層の情報共有化が必要と感じています。</p> <p>質疑応答の機会をいかに設定するか、ご検討願います。</p>	<p>○原案のとおり</p> <p>ご指摘のとおり、人口減少や厳しい財政状況にあっても、市民の皆様に必要なサービスを提供し、新たな市民ニーズに対応するには、市民の皆様のご理解とご協力が不可欠です。</p> <p>行政が全てのニーズに対応することは困難であり、また、行政だけがサービスの主体として、できることも限界があることから、市民と行政との協働をはじめ、産業界や教育機関など様々な方々と協力・連携していく必要があると考えております。</p> <p>その前提となるのが、市民の皆様と行政との情報共有と対話であり、情報共有と対話を通じて、お互いのニーズ、取り組み、現状を知ってもらうことで、様々な課題を市民の皆様にも主体的に捉えていただけたらと考えております。</p> <p>これまで、市長が地域や団体に出向いて、皆様からのご意見をお聞きする「市政懇談会」(平成28年度15回開催)や、各種の審議会等での委員の公募、パブリック・コメントでのご意見の募集などに取り組んでまいりました。</p> <p>今後とも幅広いご意見をいただけますよう、開催方法などを検討してまいります。</p>
2	H28.12.26	メール	<p>第四「改革の基本方針」3「市民協働の推進」(2)「広報・公聴の充実」について意見を述べさせていただきます。</p> <p>SNS等を使つての情報拡散について、キャラクターイラストや漫画を利用して発信することが非常に効果的だと考えます。</p> <p>当方は市内で自営業者として各種コンテンツの制作を行っております。今夏以降笠間市起業塾や地域おこし協力隊の会合に参加させていただき、その過程で笠間の栗広報のマスコットキャラクターである「くり娘」というのを創出し、観光協会様とも連絡を取りつつ、とりあえず個人レベルで広報活動を開始しました。</p> <p>上記はSNSを通じた広報が中心ですが、有料宣伝を行ったところ、極めて高い効果を上げることができました。</p> <p>このため、市全体としても、キャラクターイラストや漫画を利用した広報宣伝に、力を入れていただければよい結果を得られるものと考えます。</p>	<p>○原案のとおり</p> <p>笠間市観光協会のフェイスブックに掲載されている笠間市非公認キャラクター「くり娘」を拝見させていただきました。</p> <p>かわいらしいキャラクターが、季節にあわせた様々なバージョンで、笠間の栗をPRいただきましてありがとうございます。</p> <p>市では平成25年から笠間の栗の推進キャラクターとして「KKT6(かさまの栗つたえ隊)一家」を制作、使用しており、本キャラクターへ集約することとしていることから、新たな公認はいたしかねるところでございますが、今後とも笠間の栗の推進に、ご協力いただけますようお願いいたします。</p> <p>また、笠間市では、平成27年度から広報戦略室を新設し、情報発信を整理・統括することで、戦略的な広報・情報発信を推進する広報情報戦略の核といたしました。いただきました貴重なご意見は、広報活動の推進に役立たせていただきます。</p>